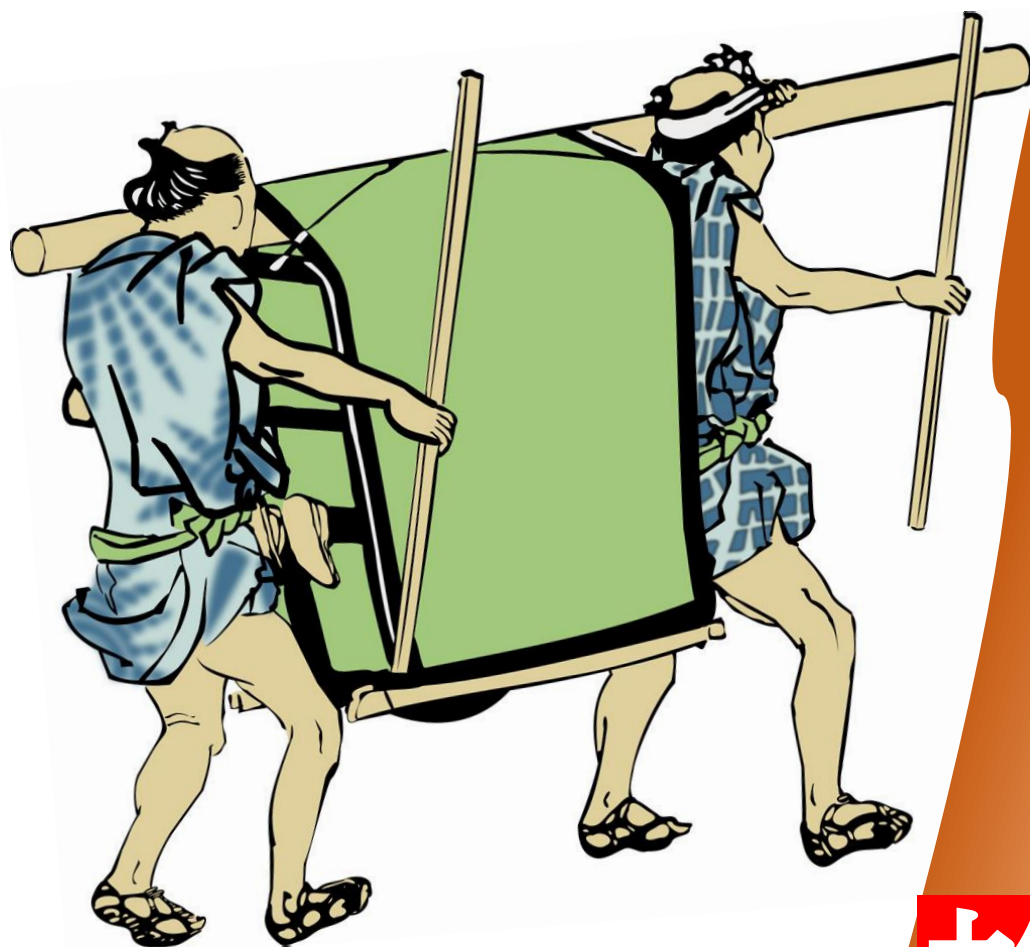


平成28年

9月13日(火)～

10月30日(日)



開館時間

9:00～17:00 (入館16:30まで)

観覧料

100円 (常設展もご覧いただけます)

津幡ふるさと歴史館「れきしる」

石川県河北郡津幡町字清水1番地1

076-288-2101

平成28年度

「れきしる」秋の企画展

# 宿場町つばたの

# 旅道具

昔の庶民の旅の多くは「歩く」旅でした。道中には山や川を越える厳しい道のりもありました。

そんな大変な旅を身軽に便利にするための旅の道具たち。

「れきしる」の秋の企画展では、宿場町つばたに伝わる旅道具をご紹介します。



津幡八景図（津幡町教育委員会所蔵）

「津幡宿」のおこりは、前田利長が「津幡は宿場として重要なところだから、近在から住民を集めて町作りをせよ」と命じたことからといわれています。

その後、加賀藩の参勤制度が1635（寛永12）年から始まり、藩政全期を通して約200回の参勤交代がありました。その殆どは北国街道を利用したそうです。北国街道の宿場町である津幡宿と竹橋宿には、旅人や商人のほかにも数千人の大名行列が往来したことになります。